

令和4年度 会派議員派遣報告書

会 派 名	創志会
議 員 名	岡 富雄・陶 範昭・伊藤勝也・杉谷辰次・村上真以
議員派遣先名	広島県世羅町役場産業振興課・有害鳥獣解体処理施設

派遣費用

科 目	支出額	摘 要
調査費	2,500 円	視察参加費（行政視察料として5人分）
調査費	1,500 円	視察先への土産代
合 計	4,000 円	

1 三原市での課題と派遣の目的（本市の現状と課題を明確に）

<p>有害鳥獣（猪・鹿等）の増加により、農作物の被害が増大している。 農作物の被害減少や捕獲者の収入増のため、ジビエの有効活用の研究を目的とする。</p>

2 実施概要 （1カ所目）

実 施 日 時	派 遣 先	広島県世羅町役場・有害鳥獣解体処理施設
令和4年10月18日 9:00~11:00	担 当 部 局	世羅町役場産業振興課
報 告 内 容 ・ 所 感	<p>世羅町の有害鳥獣の捕獲状況は、令和3年度で猪702頭、鹿673頭が捕獲され、処理施設には10,432kgが搬入されている。搬入後は、一部は搬入者（解体者）が自己消費として持ち帰ることもあるが、ほとんどは三原市清掃工場で焼却されている。</p> <p>処理施設整備以前（平成29年）は、捕獲された個体は埋設処分していたが、処分に係る労力等を低減し、有害鳥獣捕獲を積極的に行っていただき、住民の利益に供することを目的に、処理施設が約4,000万円で設置された。（平成31</p>	

	<p>年1月利用開始) 年間のランニングコストは約100万円である。行政としては、販売先や安定したジビエの確保等を考えると、現時点では狩猟肉のジビエとしての活用は困難であり、考えていない。</p> <p>ただ、世羅町では行政がジビエの販売等は行っていないが、町内には民間の解体販売業者がおり、業者に直接持ち込んで買い取ってもらう人もいる。値段は捕獲時期や個体の大きさにより3,000円～80,000円とのことであった。</p>
<p>市政に活かせること(まとめ)</p>	<p>本市においても、猪や鹿などの有害鳥獣の捕獲数や農作物の被害は年々増加している。有害鳥獣の肉をジビエとして活用することができれば、捕獲者の収入が増加し、狩猟意欲がわき捕獲数も増え、農作物の被害も減少するのではないかと考える。</p> <p>世羅町によると、ジビエの販売に行政が関わっている自治体は県内に2～3箇所しかなく、今回の調査で、現時点では行政がジビエの販売などに係わることは困難であることが分かった。</p> <p>今後は、本市においても、近隣の民間解体販売業者に捕獲した個体を持ち込みやすいシステムを構築するなど、捕獲者の収入増を図り、減少している狩猟者の確保を推進し、一つの産業として成り立つようにすることができれば、農作物の被害も減少し、農業従事者の勤労意欲にもつながることも考えられ、検討していきたいと思う。</p>

※ 施設先の写真・資料等を必ず添付すること。